

## 僕と老犬

一年 佐野智仁

「左目が緑っぽくみえるけど、リーちゃんのおかしくない？」

「この目ね。この目は緑内障という目の病気だよ。動物病院で診てもらったけど、もう良くならな  
いって言われたんだよ。」

と祖父が教えてくれた。

僕の祖父の家には十二歳の老犬リーベがいる。老犬の割には元気だが、口には大きなイボ、右目も最近何だかおかしい。緑内障という目の病気は人間だけと思っていたが、犬でも同じ病気になることを最近知った。

本当に見えていないのか大好きなおやつを目の前にして、右へ左へ上へ下へリーベを操作したが、確かにあまり見えていないようで、とても驚いた。

僕が幼稚園の年少の時、祖母が入院をした。その時僕と母がリーベの散歩をしていたのだが、僕がリーベのリードを持ちたいと駄々をこねたので母がリードを渡すと、「待ってました。」と言わんばかりにリードごと川沿いをすごい勢いで走って行ってしまった。僕は母に、

「しっかり握ってなくちゃダメだっていったでしょ。」

と怒られるし、ぼくが怒られているところにわざと寄ってきて、僕や母があわてて捕まえようとすると、また猛ダッシュで逃げ、捕まえるのにとても時間がかかったのを思い出した。

あんなに目もよく見えて元気に走り回っていたのに、数年前に比べると、走る速度も人を見分ける力も衰えていくスピードが、僕の想像以上に早いので、とても寂しい気持ちになった。

僕は毎日リーベに会えないので、暇なときに犬の動画を見る。やっぱり選んでしまうのが、子犬の映像だ。丸々としてかわいい。いたずらをしたり、寝ているところも「かわいいなあ。」と思いつつ長い時間見てしまう。最近では、リーベが歳を取ったこともあるが老犬の動画も見ることがなくなった。ゆっくりゆっくり歩く散歩の姿や、家の置物みたいになっている犬も子犬とは違うかわいさがある。見終わった後はいつも「家族に大切にされてよかったね。」と思ってしまう。

以前テレビでコロナが終わったのでイヌやネコを捨てる人が増えてきているというニュースを見た。自分が必要な時だけ動物を利用して仕事で忙しくなったら捨てる人間の気まぐれな感情にとっても腹が立った。動物だって笑ったり、怒ったり悲しんだり、人間と同じ感情がある。動物も人間と同じ感情をもった生き物だということを忘れなければ、動物を捨てることはできないと思う。僕の祖父母や動画の人たちのように、老犬になるまで共に生きることが当たり前という考えの人が増えればよいと思う。